シンポジウム

日本で暮らす

―外国ルーツの子どもとその家族―

参加料無料

異なる国の人と出会い、違いを知り、多様な文化を学びあいましょう！
互いに支えあい、つながることの大切さを知りましょう！
国を越え、ともに大阪から新たな活力を生み出していきましょう！

開催日時 2022年 **6月12日(日)**

会場 大阪国際交流センター　大ホール

アクセスマップ

定員 500名（定員になり次第、受付終了）

プログラム

◆**第1部　13:00～14:00**
基調講演
「出会いこそ、生きる力」
サヘル・ローズ氏（俳優）

◆**第2部　14:15～15:00**
パネルディスカッション

コーディネーター　田村太郎氏（一財）ダイバーシティ研究所代表
パネリスト　外国人住民数名
ゲスト　サヘル・ローズ氏（俳優）

申込・問合せ

公益財団法人 大阪国際交流センター
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8－2－6
TEL 06-6773-8989　FAX 06-6773-8421
URL http://www.ih-osaka.or.jp

主催
公益財団法人大阪国際交流センター
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会

一般財団法人 自治体国際化協会

この事業は、一般財団法人自治体国際協会の助成事業により実施いたします。

シンポジウム 日本で暮らす ―外国ルーツの子どもとその家族―

開催趣旨

大阪市在住の外国人は過去10年で1.2倍に増え、今や市民20人に1人が外国人になっています。

外国人住民がことばや文化、習慣の異なる土地で生活するうえで、特に子どもを育てることは、大変な不安と苦労を伴います。なかには、相談できる相手が欲しいと思っている人もいます。

一方、長年日本に住んでいても日本人との交流がない外国人や、となり近所の外国人の存在は気づいていても声をかけたことがない日本人が多くいます。

また、高齢化が進む地域では、まちのお祭りなどの地域行事や、災害が発生した時に頼りになる存在として、比較的若い人が多い外国人に期待するところもあります。

同じまちに住む仲間として、外国人住民と日本人住民が、互いに顔の見える存在として暮らすまちをめざし、まずは外国人がどんな苦労や心配を抱えているのか、どんなサポートが喜ばれるのかを知ることが第一歩になります。

誰もが安心して暮らせる大阪を、一緒に作っていきましょう！

講 師

サヘル・ローズ 氏（俳優）

1985年イラン生まれ。8歳で来日。日本語を小学校の校長先生から学ぶ。舞台『恭しき娼婦』では主演を務め、主演映画『冷たい床』では、ミラノ国際映画祭で最優秀主演女優賞を受賞するなど、映画や舞台・俳優としても活動の幅を広げている。また、第9回若者力大賞を受賞。国際人権団体NGOの「すべての子どもに家庭（かてい）を」の活動では親善大使を務めた。個人的にも支援活動を続け、公私にわたる福祉活動が評価され、2020年にはアメリカで人権活動家賞も受賞。今後も、世界に目を向け活動していくことが目標。

コーディネーター

（一財）ダイバーシティ研究所代表 田村太郎 氏

兵庫県生まれ。阪神大震災で被災した外国人への支援を機に「多文化共生センター」を設立。2007年から「ダイバーシティ研究所」代表として、人の多様性に配慮のある地域や組織づくりに携わる。復興庁復興推進参与、大阪大学客員准教授を兼務。共著に「多文化共生キーワード事典」「つないで支える」などがある。

公益財団法人 大阪国際交流センター　社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会